

## 上志比地区振興連絡協議会・鈴木会長の挨拶

皆様には、当協議会の活動などに対し、ご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、恒例の行事である「町長と上志比を語る会」や「講演会」などが開催できなかったことを深くお詫びいたします。

一方、ここ数年開催を見合わせていた「どんど焼き」を皆様のご協力を得て主催し、開催できましたことを大変うれしく思っております。

コロナ禍もようやく治まるきざしをみせはじめ、世の中の活動もコロナ禍前に戻りつつある中、当協議会は地区全域の活性化と産業の振興及び地域住民の生活向上のため邁進していきたいと考えておりますので、皆様方のご助言、ご支援をよろしくお願いいたします。



鈴木忠夫 会長

## 永平寺町・河合町長の挨拶



河合永充 町長

上志比地区振興連絡協議会の皆様におかれましては、平素より町政発展にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、長く続いた新型コロナウイルス感染症については、マスク着用が個人の判断に委ねられ、

5月8日には感染症法の位置づけが第5類に移行するなど、これまで浸透してきた基本的感染対策が大幅に緩和されることとなります。これまで、皆様の活動や地域の行事が中止や自粛などを余儀なくされてきました。新しい生活も浸透してきた面もありますが、人と人とが顔を合わせ、会話し、笑いあうことがこんなに大切なことだとも痛切に感じた次第です。

昨年、上志比地区が国から過疎地域に指定されたことから、過疎地域持続的発展計画を策定して、国から7割の支援が得られる有利な過疎債を活用して、各種の事業を行っていますが、人口減少が進む地区での、少子高齢化対策、定住支援対策は喫緊の課題です。

そのため新年度より役場の機構改革を行い、「えい住支援課」を創設いたしました。企業誘致、移住・定住支援に特化した施策を行う部署として人口増対策を進めてまいります。特に上志比地区、永平寺地区への移住定住を誘導する補助事業を新たに創設し、既存の

空き家対策や定住支援と併せ、人口の減少が進む地域での住まいの場の支援となるよう一体的に施策を進めてまいります。

また、新年度予算では、えちぜん鉄道支援事業補助、学校給食費、学校のICT授業、ニンキー体育館を人工芝へと改修する事業のほか、子育て支援として、えちぜん鉄道の通学定期券購入費の補助率を10%から20%へと拡充したところです。

現在進行中の地域の活性化、新たな交流人口を増やす取り組みでは、令和5年度から、上志比地区で酒蔵の操業が開始され、今後、永平寺町産酒米の需要増が見込まれています。今年度から地元の酒蔵で使用する酒米づくりに地域で取組まれることから、今後は、農業従事者とJA及び県と町が連携体制を構築し、生産量の安定確保と高品質化に取り組み、新たな永平寺町の特産となるよう推進してまいります。

また、古民家を活用したゲストハウスのオープンを予定されており、新たな投資を生む事業が見込まれております。

今後も上志比地区振興連絡協議会をはじめ、上志比地区の皆様にもご相談させていただき、地域の振興策を講じて参りたいと存じますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝とご多幸、そして上志比地区振興連絡協議会の益々の発展をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

## 令和4年度 上志比地区振興連絡協議会・総会

令和5年3月25日サンサンホールにて、令和4年度上志比地区振興連絡協議会総会を開催しました。

令和4年度の事業結果、収支決算報告、令和5年度の事業計画(案)、収支予算(案)及び規約の一部改正(案)で、上志比壮年集団連絡協議会の解散に伴い、上志比壮年集団連絡協議会長を令和壮年団上志比地区代表に変更することが承認されました。

また、令和5年度の会長は上志比地区区長会長の鈴木芳明(大野島区長)氏が選任されました。

●日時：令和5年3月24日(金) 午後7時～

●場所：上志比文化会館サンサンホール



## 上志比どんど焼き



令和5年1月29日、雪が降りしきる中、上志比農村公園ゲートボール場にて上志比地区振興連絡協議会主催で、どんど焼きが開催されました。今回は新型コロナ感染拡大防止のため、イベントや出店などは行わずに「永平寺町どんど焼き」としてではなく、「上志比どんど焼き」として実施されました。

●日時：1月29日(日)

●会場：上志比農村公園ゲートボール場

●神事：午後2時～午後4時 終了  
【お飾りの受付は午前9時から】

●主催：上志比地区振興連絡協議会



↑上志比どんど焼きチラシ



受付



準備



神事